

東京都がん検診センター 医療連携 都がん便り

公益財団法人 東京都保健医療公社
東京都がん検診センター
 所在地 〒183-0042 府中市武蔵台2-9-2
 TEL 042-327-0201 (代表)
<http://www.tokyo-cdc.jp>

10月はピンクリボン運動月間です！



ピンクリボン運動は、乳がんで亡くなられた患者さんの家族が“このような悲劇が繰り返されないように”との願いを込めて作ったリボンからスタートした、乳がんの啓発運動です。乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の受診を推進することなどを目的として様々なキャンペーンが行われています。

東京都がん検診センターでは、正面入り口に普及啓発パネルやパンフレットを置き、ひとりでも多くの方に乳がん検診について知っていただき、定期的な検診を受けるきっかけにして欲しいと考えています。

10月6日(土)には同じ多摩キャンパス内にある都立多摩総合医療センターが開催した「ピンクリボンフェスタ」に協力し、乳がん検診車の展示や検診に関する相談コーナーを担当しました。当日はたくさんの方が会場訪れてくださり、乳がんに対する関心の高さがうかがえました。

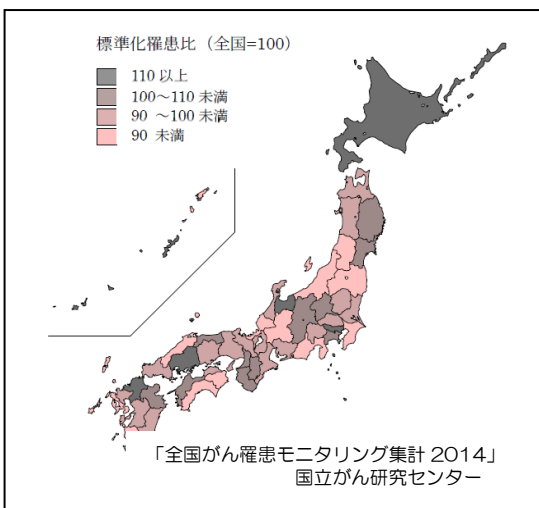
来月は、11月4日(日)に武蔵国分寺公園(国分寺市泉町2丁目1)で行われる「国分寺まつり」に参加し、乳がん検診車の展示やがん検診の普及啓発のためのイベントを実施します。よろしければ是非お立ち寄りください。

最新の統計では、日本人女性のうち、乳がんを発症する割合は約11人に1人とされています。今年9月に発表された「全国がん罹患モニタリング集計2014」における都道府県ごとの乳がん罹患率では、東京都は全国平均に比べてとても高いというデータも出ています。

【東京都がん検診センター 正面入口】



【都道府県ごとの乳がん罹患率(女性)】



40歳を過ぎたら2年に1度の定期検診を受けるよう、地域の先生方からも受診者のみなさまへお声掛けいただければと願っております。

検診で要精密となった方や、しこり等のご症状がある方には、東京都がん検診センター乳腺腫瘍外科へご紹介ください。当センターではマンモグラフィ、超音波検査の他、必要に応じて細胞診、針生検、ステレオガイド下マンモトーム生検等を実施しており、速やかな確定診断に努めております。乳がんで死亡する方を少しでも減らせるよう、当センタースタッフ一同、日々取り組んでおりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

〈保健指導係 丹羽咲弓〉

放射線科からのお知らせ

2018年10月 東京都がん検診センターでは、3台あるマンモグラフィ装置の1台をトモシンセシス搭載モデルに更新しました。また、CT装置も、被ばく線量を大幅に低減できる最新モデルに更新しました。今後も患者さんに優しく、精度の高い検査を提供してまいります。

トモシンセシス搭載デジタルマンモグラフィ撮影装置を導入 《FUJIFILM AMULET Innovality》



高画質と患者さんの負担軽減を実現

50 μ mの高精細画

直接変換方式フラットパネルディテクタ最小画素サイズ50 μ mにより、微小石灰化の描出能が向上。
線質補正機構によるコントラストの向上。

撮影時の痛みを軽減

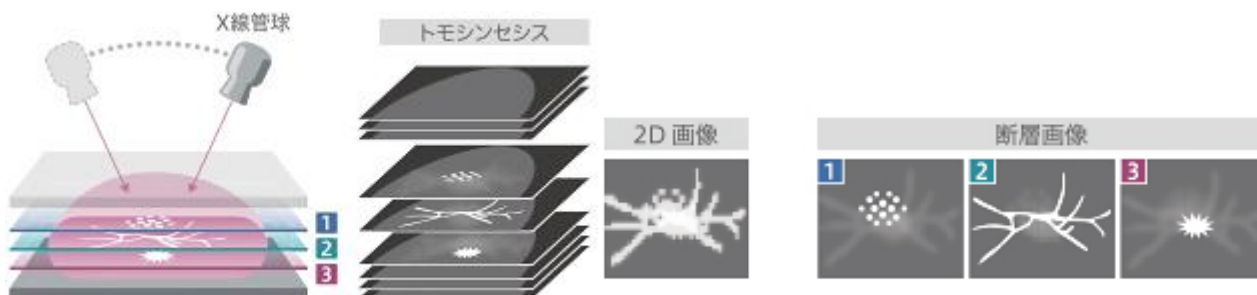
身体に優しくフィットする装置デザイン。
乳房の厚みが増えない範囲で減圧を行う
圧迫自動制御機構により、圧迫による痛みを軽減。



3Dマンモグラフィ「トモシンセシス」搭載

トモシンセシスとは？

トモシンセシス (Tomosynthesis) は乳房を複数の方向から角度を変えて撮影したデータを用いて、任意の高さの断層像を再構成する技術です。



より精密な診断が可能に

再構成した断層像は組織の重なりが少なく、従来の2Dマンモグラフィでは発見が難しかった病変の観察がしやすくなります。また、偽陽性（乳がんではないにも関わらず、乳がんの疑いありと診断されてしまうこと）を減らすことができ、不必要な精密検査を減らし、患者さんの負担を減らすことができます。

日本で3台目の最新CT装置です!!

CT装置 SIEMENS 社製 SOMATOM go.TOP を導入



超低被ばくCT検査

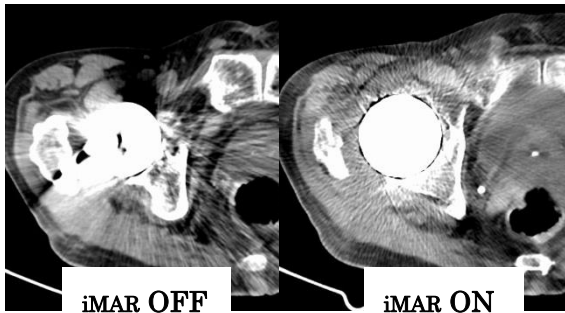
- 最新技術の” Tin Filter” を用いた被曝低減技術を導入し、胸部低線量肺がんCT検査で被ばく線量を従来のCT検査の1/50に低減することが可能となります。
- 通常検査でも、被ばく線量が低減されました。

患者さんに優しい検査

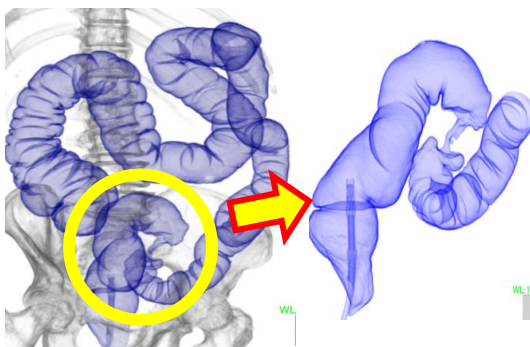
- 撮影条件を細部に渡り調整することが可能となり、画質が向上しました。
- 低電圧撮影により、造影検査において腎機能の悪い患者に対して、造影剤使用量の低減が可能になりました。

iMAR導入（金属アーチファクト低減）

- 金属アーチファクト低減処理が導入され、歯列や人工関節等の挿入患者に有効です。



3Dワークステーションを AMIN 社製 Zio Station2 に更新しました



大腸CT検査の患者負担軽減と精度向上

- 残渣・残液を取り除くデジタルクレンジング機能を搭載し、患者の前処置負担を軽減することができます。（現在調整中）
- 画像処理精度が大幅に向上し、従来の2~3cmの病変描出能から、6mmの隆起性病変の抽出が可能となりました。

最新ソフトウェア搭載

- 胸部CTでは、気管支を亜区域枝領域まで認識し、細部までラベリングや仮想気管支鏡像を作成することが可能となりました。

検査に関するお問い合わせ先

放射線科 042-327-0517 (直通)

医療連携室からのお知らせ

CT検査のご案内

当センターでは、地域の先生方から躯幹部単純・造影CT（頭部、四肢を除く）、大腸CT（CTコロノグラフィー）の検査依頼をお受けしています。

紹介元の医療機関様から、医療連携室へ電話またはFAX申込書で直接お申し込みください。

◆躯幹部単純・造影CT（頭部、四肢を除く）検査

消化器内科外来へご紹介ください。

造影CTの場合は診療情報提供書およびFAX申込書に、直近（3か月以内）の血清クレアチニン値（※）を記載してください。 ※当センターにて検査することも可能です。

〈CT検査依頼の流れ〉

①FAXまたは電話にてお申し込みください。

②造影CTの場合は、診療情報提供書に直近Cr値を記載ください。（当センターにて検査することも可能です）

③当センターにてCT検査の説明及び同意書の取得を行います。

地域の医療機関

かかりつけの医院
やクリニック

紹介 ↓ ↑ 返送

東京都がん
検診センター

⑤検査後4～5日で、医療連携室より読影結果と画像（CD-R）を発送します。

☞ご希望に応じて、当センターにて結果説明を行うことも可能です。

④当日または1週間以内を目安にCT検査を行います。

◆大腸CT（CTコロノグラフィー）検査

消化器内科外来へご紹介ください。

CTコロノグラフィー検査は、大腸内視鏡検査の挿入が困難かつリスクを伴うと判断された方、ご高齢で大腸内視鏡検査が困難と判断された方にもお勧めです。

〈CTコロノグラフィー検査依頼の流れ〉

①FAXまたは電話にてお申し込みください。

②初診日にはCTコロノグラフィー検査は行いません。医師と相談の上、検査日を決めます。

③当センターにてCTコロノグラフィー検査の説明及び同意書の取得を行います。

地域の医療機関

かかりつけの医院
やクリニック

紹介 ↓ ↑ 返送

東京都がん
検診センター

⑤検査後4～5日で、医療連携室より読影結果と画像（CD-R）を発送します。

☞ご希望に応じて、当センターにて結果説明を行うことも可能です。

④検査予約日に、前処置を行った上でCTコロノグラフィー検査を行います。

《医療連携「都がん便り」に関するお問い合わせ》

医療連携室（保健指導係） 担当：丹羽、横山、蒲野

電話番号 042-327-0201（代表）内線2217

FAX 042-327-0450（医療連携室直通）

